

1997～1998年度

会長挨拶



「21世紀を視野に
RC活動を一層活性化しよう」

三郷中央ロータリークラブ
会長 園原 穰

1988～1999年度会長に推挙いただきましたが、時代を背景に考えると重要な節目に当たることを意識せざるを得ません。

一つは20世紀最後の会長を無事務め上げて、21世紀の最初の会長に就任される加藤さんにバトンを手渡す役割を担っていること。二つめは1999年に当クラブが創立10周年を迎える事であります。当クラブの今日の繁栄を築き上げられた諸先輩の偉業と苦勞に思いを馳せ、記念事業は是非とも成功させ共に喜びを分かち合いたいと考えるのであります。

次に会長として、若干の抱負を述べさせていただきます。私はRCの活動も会社の経営と同様に、収入と支出に関する予算を重視した運営が必要だと考えます。会員増強はRCが常にチャレンジしなければならぬ命題であると認識しておりますが、現実の深刻な不況下にあつては、脱会者が出ないよう努力することも切実な問題であります。出来る限り会費予備の範囲内で、親睦活動、奉仕活動に成果を上げる事も必要かと考えており、会員に皆様の賛同を賜りたいと存じます。

RCの今日の繁栄は、規約により任期が1年と限られており、それが活力の源泉であり、時代の流れに柔軟に対応できたからと教えられました。私の任期内に出来ることは限られますが、RCの発展の経緯、歴史等に学ぶことと、会員の皆様のご意見に良く耳を傾け、健康の許す限り率先してクラブ活動に参加する事を信条に努力する所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

クラブ概況と会務方針

幹事 岡田繁夫
副幹事 大熊克巳

(1) クラブの経緯

当クラブは三郷ロータリークラブをスポンサーとして1990年5月23日26名をもって創立、同年6月20日RIに正式加盟認証されました。

本年度はRI会長の「ロータリーの夢を追い続けよう」をテーマに、ガバナーの「羽ばたけロータリアン! 力強く誇りをもって」を運営方針に親睦と友情を強め、創立以来歩み続ける「信頼と和」の精神を充実させ快適清潔、明るく楽しいロータリークラブの確率に努力してまいります。

(2) 出席状況

100%達成を目指すと共に、出席意識の向上を図り出席委員会と共に例会出席メーキャップその他各種会合への出席奨励に努めます。

(3) クラブ財政

- ①クラブ細則第10条第一節の規定に従い会計一柳幸男会員、会計監査に宮川理平会員を決定し、クラブ資金の運用については、武蔵野銀行を指定しました。
- ②クラブの会計収支は予算書に基づいて運営し合理的かつ最大の効果があがるよう用途については充分配慮します。
- ③会費は年額30万円として上期7月1日15万円、下期1月1日15万円を徴収し、入会金は10万円とします。
- ④収入予算は現会員と増加見込み数をもとに算定されています。理事会及び各委員長と協議し作成しました。

